

石巻健育会病院

渡邊大地子（摂食・嚥下障害看護認定看護師）

功 績 2020年に認定看護師の資格を取得してから院内の摂食嚥下支援活動に携わってきた。

2021年の診療報酬改訂では摂食嚥下機能加算の見直しがあり、これを機会に多職種で摂食嚥下支援チームを立ち上げ、チームの中心となって院内の摂食嚥下に関する問題解決に貢献してきた。さらにチーム活動の体制整備により摂食機能療法患者、摂食嚥下機能回復体制加算件数の増加につながった。これらの活躍から市民講座や看護協会の出前講座の講師として依頼がくるようになった。医療の質向上と病院の知名度アップ、さらに経営にも貢献している功績。

推 薦 者 庄司正枝

推 薦 理 由 2020年に認定看護師の資格を取得し、それ以降当院の摂食嚥下支援活動に携わり、その活躍が大変めざましいです。摂食嚥下支援チームを立ち上げ、リーダーシップをとって積極的にチームメンバーをまとめています。加算取得への意識も高く、認定看護師として行動力と情熱を感じます。なにより、患者さんが少しでも「口から食べれるように」という渡邊さんの思いが根底にあるものと考えます。食べることは生きること、一人ひとりの食を考え、丁寧な摂食嚥下支援が患者さんに提供できるようになったのは渡邊さんの功績であると考え、理事長賞に推薦いたします。

内 容

渡邊さんは2020年に認定看護師の資格を取得し、当初はどんな活動から始めようか迷っていた。それまで当院では摂食嚥下、といえば言語聴覚士（以下ST）を中心にリハビリが行われてきた。STに任せきりの摂食機能療法算定はわずか3～4名程度と少ない状態だった。

しかし、2022年度の診療報酬改定で摂食嚥下機能加算の見直しが図れると、これを機会に渡邊さんは多職種による摂食嚥下支援チームの立ち上げを目指した。多職種で幾度となく打ち合わせを行い、算定要件も踏まえた体制整備、医師の検査サポート、カンファレンスの開催、スタッフ指導、専門医とのラウンドなど、準備を行った。2022年8月摂食嚥下支援チームの体制が整い活動が開始されると、摂食嚥下機能回復体制加算算定及び院内の摂食嚥下に関する問題解決に多職種チームで関われるようになった。体制整備のマネジメント力、摂食嚥下に関する問題意識の高さ、リーダーシップの発揮によりスピード感をもって院内の体制と活動を整えた。現在も毎週の医師の検査、チームカンファレンス、支援計画の見直し、スタッフへの指導などを継続している。

現在、毎月の摂食機能療法患者は20名ほどに増え、摂食嚥下機能回復体制加算2の取得については多い時で40件を超える算定となった(22年度 91件→23年10月時点171件 対前年比+80件 +15千点)。摂食嚥下支援チームが関わることで患者の食への希望が広がり、丁寧な医療の提供にもつながっている。また、これらの活躍から市民講座や看護協会の出前講座の講師依頼があり、10月27日には市民向けに、11月8日には施設職員に向けて講義を行った。医療の質向上と病院の知名度アップ、さらに経営にも貢献を続けている。